

平成29年度 第2回 山梨県がん対策推進協議会概要【公開用】

- 1 日時 平成29年12月20日(水) 午後2時～5時
- 2 場所 県庁防災新館401会議室
- 3 出席者(22人中21人出席)
秋山委員、飯塚委員 石原委員、大西委員、長田委員、小俣委員、工藤委員、
窪川委員、小池委員、佐藤委員、武田委員、中込委員、中村委員、
藤井委員(代理 巾氏)、古屋委員、松田委員、三浦委員、許山委員、
依田(芳)委員、若尾委員、渡邊委員
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 山梨県がん対策推進条例について(報告)
 - (2) がん対策推進基本計画(第3期)について(報告)
 - (3) がん対策推進計画(第3次)素案について
 - ・がん対策推進計画の第2次と第3次の比較
 - ・山梨県がん対策推進計画(第3次)の概要
 - ・山梨県がん対策推進計画(第3次)案(概要)
 - ・山梨県がん対策推進計画(第3次)素案
 - (4) 山梨県地域保健医療計画(がん関係)の見直しについて
- 5 概要
 - (1) 山梨県がん対策推進条例について(報告)
 - (2) がん対策推進基本計画(第3期)について(報告)
(資料説明)
事務局から資料1・資料2を報告
(意見等)
○特になし
 - (3) がん対策推進計画(第3次)素案について
(資料説明)
事務局から資料3、資料4-1・2、資料5を説明
(意見等)
○一次予防、二次予防について
 - ・75歳未満年齢調整死亡率を目標値とすると数値のみに関心がいくため、「10年前に比べ概ね2割減少させ続けていく」という先を見通した指標は評価できる。

- ・受動喫煙に対して、一步踏み込んだ形で山梨県民全体が行動変容を起こすよう、全ての県民・組織・団体・企業が取り組めるようにしてほしい。例えば、飲食店等で、たばこが苦手でも「やめてほしい」と言えない雰囲気がある。そんなときに意思表示できる「カード」のようなものが用意されていれば良いのではないかと具体的な案が出された
- ・山梨県はがん検診の受診率が高いのにも拘らず、精密検査を受ける人が比較的少ない。その取り組みとして、民間の活用を利用し、企業検診によるがん検診の精密検診の受診率も高め、精度も高めるための企業への啓発普及をしてほしい
- ・精密検査の意味が分からない人も多い。検診を受け要精密検査という書類をもらった後、その人がそのような流れをたどり結果が出たか、治療に至ったか等市町村や検診機関と医療機関との結果等の情報の連携が必要ではないか。

(事務局)

- ・受動喫煙については、県は今年度にも、喫煙等に関して意見をお聞きするような機会などを設ける予定。

○がんと就労支援について

- ・5年相対生存率は改善しているが、再発を繰り返すがんもあることから、生存率だけでなく、治療しながらの生活の質 QOL も大切ではないか

(関係機関 労働局)

- ・労働局は、2020年までに両立支援コーディネーターを、2,000人養成するというような取り組みを掲げ関係機関と連携する取り組みを始めている

○尊厳を持って安心して暮らせる社会について

- ・尊厳を持って安心して暮らせる社会に生きるために、どのような対策を行っていくか教えてほしい

(事務局)

- ・尊厳を持って安心して暮らせる社会という事が難しいというのは、患者さんの方々が普段感じられていないと言うことはその通りだと感じている。だからこそ、そういう社会を目指して行くために掲げた。具体的に様々あるが、緩和ケアの推進や就労の支援は、その一つのツールと考えている。非常に多くの方々のご協力が不可欠だと思っている。全ての県民が、全体目標のがん患者を含めた県民（がん患者でない県民も含めて）良くがんを知ってがんの克服を目指す

こと。つまり、「がんがあっても無くても、その方がその方らしく生きられるように、一緒に社会を作っていこう。」県として掲げ活動する事が必要と考えている。

○在宅医療について

- ・育成されたトータルサポートケアマネージャーを在宅医療の中でどのように活用していくのか、どのような形で患者の尊厳を持った在宅医療が進んでいくのか今後の活用について教えてください。

(関係機関 医務課)

- ・がんに限らず介護と医療の垣根を越えたサービス提供をするというような形で訪問看護師等をトータルサポートマネージャーとして県で育成を始めている。今年度から育成をして来年度以降どのようにやっていくかというのは、訪問看護師に介護との連携の核になっていただくため現場の意見を踏まえながら検討していく。

○がん教育について

- ・小中学校について、山梨はどのようにされているか

(関係機関 スポーツ健康課)

- ・外部講師を用いた教育ガイドラインの周知徹底については、がん教育を指導する教職員を対象に、がん教育の研修会やそれからその他の色んな研修会の中で、がんに対する正しい知識・理解及び命の大切さに対する認識を深める研修を実施している。外部講師を用いた教育ガイドライン、それからがん教育推進のための教材、がん教育推進のための教材指導参考資料等活用するように周知している。今後も更に努めていく予定。

(4) 山梨県地域保健医療計画（がん関係）の見直しについて

(資料説明)

事務局から資料6を説明

(意見等)

○山梨県地域保健医療計画について

- ・「各病院がどういう役割を担えるか」という、一覧表はリニューアルされるか

(関係機関 医務課)

- ・山梨県地域保健医療計画の資料編に掲載していく予定